

会議名称	学会委員会（平成 27 年度第 3 回）							
日 時	平成 28 年 1 月 30 日（土）10:10～10:40							
場 所	県立中央病院 3 階第 3 会議室							
出席者	○	伊藤会長	○	野崎副会長	○	郷右近委員長	○	吉田副委員長
	○	池端委員	×	瀧向委員	×	中村委員	○	下沖委員
	×	高橋委員	○	坂本総会長	○	小井田総会副会長	○	横島総会副会長
議 題	報告事項	1 優秀論文の選考結果について 2 春季学術集会について 3 各分科会の開催状況について						
	協議事項	1 第 48 回岩手県立病院医学会総会について（担当：二戸病院） 2 第 49 回岩手県立病院医学会総会について（担当：中央病院） 3 医学会からの疾患データ集約・公表について						
	その他	1 総合診療分科会立ち上げについて（お知らせ）						
議 事 要 旨	<b>【会長挨拶】</b> お忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。本日の春季学術集会はすでに 4 階大ホールにて研修医セミナーが始まっている。講師は昨年度に引き続き仲田先生であり、参加者も多い。研修医セミナー終了後に医師連定期総会、今年度から行うランチョンセミナー、その後に春季学術集会という日程である。時間も間を空けないようなスケジュールとなっている。 本日の学会委員会では春季学術集会、来年度の医学会総会などの話題について協議を行う。活発な発言をお願いしたい。							
	<b>【報告事項】</b> <b>1 優秀論文の選考結果について</b> 郷右近学会委員長より資料に沿って説明。原著部門は 3 位が同点となり 4 題、症例報告部門は 3 題の計 7 題が表彰される。							
	<b>2 春季学術集会について</b> 郷右近学会委員長より資料に沿って説明。医師連定期総会は会長選があるため例年よりも時間が長くなるかもしれない。また、その後のランチョンセミナーは今年度からの試みである。懇親会は例年よりも 1 時間ほど早く、16:00 過ぎに開始予定である。 ⇒ランチョンセミナーのお弁当代については医師連より賛助金をいただいている。							
	<b>3 各分科会の開催状況について</b> 事務局より資料に沿って説明。資料は予定を含め 27 回を記載している。資料に記載されていないが 2 つの分科会より開催したいと連絡を受けているものを含めると今年度は 29 回の開催予定となっている。 ⇒予算もあるので、活発な開催をお願いしたい。							
<b>【協議事項】</b> <b>1 第 48 回岩手県立病院医学会総会について（担当：二戸病院）</b> 坂本総会長より資料に沿って説明。 日程は 9 月 11 日（日）（前夜祭は 9 月 10 日（土））、会場は両日ともに二戸パークホテルである。会場も予約済みである。親睦ゴルフは軽米か安比高原を予定し、担当は二戸病院 副院長 佐藤 昌之先生。内容は例年通りに行わせていただきたい。特別講演（文化講演）は二戸								

会議名称	学会委員会（平成 27 年度第 3 回）
日 時	平成 28 年 1 月 30 日（土）10:10～10:40
場 所	県立中央病院 3 階第 3 会議室
	<p>市出身で 2014 年ソチオリンピック カーリング日本代表の苫米地 美智子氏を予定。現在、交渉中であるが、おそらく承諾を得られると思う。シンポジウムでは新専門医制度について行いたい。内容としては日本専門医機構の方からの基調講演とディスカッションを予定。新専門医制度について院長など幹部向けの説明会はあるが、実際の研修医向けの説明会というものがほとんどなく、どのような内容か、施設ごとの考えを聞ける場がない。基調講演予定の日本専門医機構の方にも参加してもらい、センター病院である中央病院、基幹・地域病院、指導医の立場から、研修医の立場からの 6 名のシンポジストを予定している。研修医の先生方も興味があると思われることから、是非参加をしていただきたい。</p> <p>また、前夜祭のアトラクションは近年二戸市、一戸町の郷土芸能を行ったことから軽米町、九戸村の郷土芸能を予定している。</p> <p>講師が文化講演、基調講演と 2 人の予定であるが、ご承認いただきたい。 ⇒文化講演講師は時期的にも空いているのではないだろうか。是非、お越しいただきたい。講師が 2 人となることも問題ない。</p> <p>日本専門医機構の方を招く際は伊藤会長や役員の方々からご紹介をいただくべきか、担当病院で依頼すべきか。 ⇒担当病院にて講師を依頼してよい。</p> <p>親睦ゴルフの会場が軽米と安比高原とが候補となっているが、何かあるのか。 ⇒移動を考慮して、候補を 2 つとした。安比高原であればゴルフを行って二戸へ来ることができるが、軽米であれば一度二戸を通り越して親睦ゴルフを行い二戸へ戻ってくることで移動に時間がかかる。 ⇒軽米であればインターチェンジもあり、そこまでの問題ではないと思う。担当病院にて決めてよい。</p> <p>⇒よって、第 48 回岩手県立病院医学会総会については承認。継続して内容を決めていくこととした。</p> <p><b>2 第 49 回岩手県立病院医学会総会について</b></p> <p>野崎副会長、事務局より資料に沿って説明。前回の委員会にて報告した内容と同様である。担当である中央病院では 6 月に日本病院学会を行う。そのため、現在は日本病院学会の準備で手が行き届かない状況である。少しずつではあるが準備を行なっていく。 ⇒承認。</p> <p><b>3 医学会からの疾患データ集約・公表について</b></p> <p>野崎副会長より資料に沿って説明。日本循環器学会では DPC データをもとに循環器疾患実態調査（JROAD）を行っている。この調査結果は施設の診療内容を全国平均と比較（ベンチマーク比較）し、その結果は施設へ紙ベースでフィードバックされる。このフィードバックされた結果は各施設で保管され、岩手県としてのデータ集約は行われていない。このフィードバックされた結果をデータ集約し、再度、岩手県の結果ということで県立病院へフィードバックして岩手県の財産としたい。データ集約作業は循環器分科会（中央病院循環器科）が行う。 ⇒実際のデータ集約作業はどのような内容か。 ⇒配布資料 13 ページの右側の数字を集計する。ものすごく手間がかかる作業ではない。また、データ集約を行うことで将来の地域医療構想としての話題を提供できる。 ⇒承認</p>

会議名称	学会委員会（平成 27 年度第 3 回）
日 時	平成 28 年 1 月 30 日（土）10:10～10:40
場 所	県立中央病院 3 階第 3 会議室

**【その他】**

中部病院 総合診療科 山田 哲也先生より総合診療分科会を立ち上げたいという連絡があった。内容は資料（A4 2 枚）のとおりである。しかし、発起人が少数であることや代表世話人を誰が務めるかなどの部分で決まっていないことがあるため、現在は立ち上げに向けた準備中である。

⇒以前から、総合診療の分科会については立ち上げの話題があった。詳細が決まっていないことから本日はお知らせとして扱う。次回（6 月頃）の評議員会で承認を得られるように準備を進めてほしい。